

価値創造への取り組み

事業概要

2025年度実績

建材事業本部

売上高
584億円

営業利益
17億円

非住宅資材

大型物流施設や工場を主とした非住宅建築物で使用する、高機能な建設資材（壁材・耐火被覆材など）やパイル・土木資材（基礎杭・地盤改良工法、EDO-EPS工法、プラスチック製地下貯留浸透ブロックなど）の設計検討から工事を全国規模で販売・工事ネットワークを活用し、お客様に提供しています。

また、食品工場・物流倉庫などの非住宅建築物に冷凍・冷蔵空間を実現する断熱パネルなど多彩で高機能な断熱材・工法を提供し、省エネ化に寄与します。

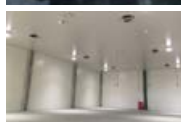
住宅資材

ZEHをはじめ、多様化する住宅に対応し、住環境の安全性・快適性・省エネ性の向上に欠かせない商材（外壁材・屋根材・オール電化商材・断熱材）に加え、各種カウンター（キッチンカウンターや洗面化粧台向け人工大理石）の加工や施工、内装に関わる様々な商材を提供しています。

また、住宅ではハウビルダー向けに断熱材をフルプレカットし、割付・加工・物流機能を当社が担うことで、工事現場における採寸・カット・廃棄作業の省力化を提供しています。

再生可能エネルギー資材

住宅用太陽光発電システム市場における業界トップクラスの実績を誇る当社は、産業用・住宅用太陽光発電システムや蓄電池・自社開発架台などの創蓄に関わる商材を取り揃え、来るべきEV（電気自動車）時代に向けた新たな取り組みとして、V2H・ソーラーカーポートの販売に注力しており、全国規模でソリューション対応が可能です。



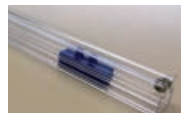
産業資材事業本部

売上高
179億円

営業利益
12億円

樹脂関連資材

合成樹脂から環境配慮樹脂まで幅広く原料や製品を取り扱っています。電子部品、車載・電装部品、精密機器向けに工程ラインや用途に合わせた、搬送・出荷用資材の最適な提案を行います。また、鉄道車両向けには省エネ化・省力化をキーワードとした内外装部材の設計・組立・複合加工機能を提供しています。耐熱・高強度などの高い機能を有した素材・製品を国内外から調達・加工し、提供することでお客様のニーズに合わせたモノづくりに貢献しています。グループ会社のタクセル株式会社では、樹脂成型品の製造・販売を行う会社として、自動車、電機向けなどの一般工業品に加え、近年は医療品分野への投資も行っています。



繊維関連資材

当社の祖業である重布（合繊帆布・装飾 TENT・トラック幌などの産業用繊維）などの繊維資材を幅広く取り揃えており、軽量性に優れた物流資材や再生原料を使用したシート、省エネ性に優れた TENT 生地など、サステナブルな商品開発も行っています。また、コンテナバッグや防衛省向け繊維製品の販売、国内の大手小売企業に対してアパレル製品の OEM 生産提案を行っています。また、人工皮革や合成皮革などを用いたカバン・袋物・靴・手袋用などの各種資材の国内販売や輸出入を行っています。

グループ会社のハイランド株式会社では、縫製・ウェルダー加工設備を備え、設計から加工まで最適な提案を行います。



電子・デバイス事業本部

売上高
142億円

営業利益
4億円

デバイス

コンシューマー製品から車載用機器・産業用機器までの幅広い用途の液晶ディスプレイや、音響部品（マイクロホン・スピーカー・レシーバーなど）、半導体やコンデンサ・リレー（継電器）といったパワーエレクトロニクス関連部品などを取り揃えています。お客様のニーズを捉え、アジアを中心としたメーカーより調達し、納期コントロール・在庫管理・部品品質管理などを組織的に行い、お客様へのサポート力を活かしたビジネスを展開しています。



アセンブリ

タイの自社工場を活用し、白物家電や幅広い製品に対して、基板実装を行う製造受託ビジネス（EMS）を設計段階から量産までトータルサポートで提供しております。電子部品商社をバックグラウンドとしながらもメーカーとしての機能を持ち、「商社＋メーカー」として競争力のある商材を提供できる体制を構築しており、タイ工場の生産にて白物家電等の省エネ・インバーター化にアセンブリで貢献します。



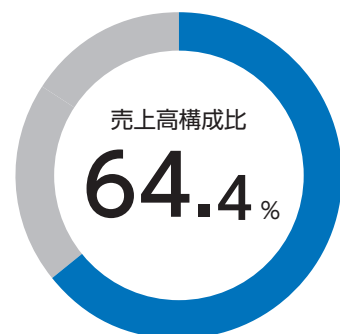
■タイ・チョンブリ工場

チョンブリ工場は、2017年11月に設立しました。BOI企業として認定を受け、日系企業様をはじめ世界各国へ輸出する家電製品を製造するお客様に実装基板を提供します。ウレタンポッティングなどの特殊加工にも対応しており洗濯機基盤など防水加工が必要な基盤の生産も行っています。SMT、ラジアル、アキシャル部品の実装機も保有しており、自動半田槽ラインと合わせて一貫生産が可能です。

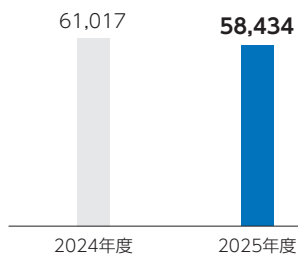
部品メーカーとの強固な関係とグループ全体のネットワークを活かし、部品の置き換えによるVE提案も行っています。またトランスフォーマー、チョークコイルの生産も行い、電源基盤のキーパーツを自社生産することで、納期短縮・コスト削減を実現します。

価値創造への取り組み

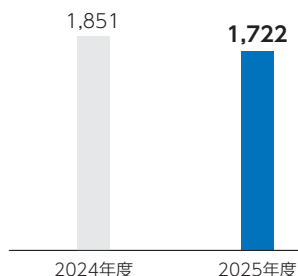
建材事業本部



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



事業内容

建材事業本部は、当社とグループ会社*で構成され、大型・非住宅建築物、住宅建築物向けに壁材、基礎杭工法、断熱材、太陽光パネル関連資材、インテリアなど、建設・建築に関わる様々な商材を取り扱っています。これらの商材について全国で販売・工事ネットワークを構築し、お客様へ企画、設計から施工までの幅広いソリューションを提供しています。

※株式会社レスト、岩水開発株式会社、株式会社ナルトエスピー工業、株式会社安藤、新エネルギー流通システム株式会社、株式会社サンワシステム（他7社）、株式会社動力、HITエンジニアリング株式会社

2006年に成立した改正建築基準法にて建設業界の規制が強化され、建材を取り扱う大手商社系建材商社が軒並み工事業務を縮小するなか、当社では施工管理体制を整備し、建材商社として「施工機能」の強化を図ってきました。その後も加工・物流・システム提供等の機能を強化し付加価値を提供する「機能商社」として、お客様へのお役立ち機能を充実させています。

今後の戦略

2023年6月に参画した岩水開発株式会社は中四国で地盤改良工事の高いシェアを誇っており、折込・加工・物流・施工などの機能をワンストップで提供することで業界内での当社のプレゼンス向上に繋がっています。また、2022年12月に当社グループに新エネルギー流通システム株式会社が参画し、住宅用太陽光発電システムの施工機能を強化しました。さらに、2025年2月には太陽光発電システムの販売・施工を手掛ける株式会社サンワホールディングスを連結子会社化。これにより、太陽光発電市場において材料卸から施工までの全領域をカバーできるようになりました。

こうした機能獲得の取り組みの発展として、2026年6月には岩水開発株式会社において地盤テック事業の譲受および株式会社安藤の子会社化を実行しました。本件により施工エリアの全国拡大と非住宅分野の体制強化を実現し、地域で培った技術力と全国施工体制の融合を通じて非住宅案件の獲得拡大と持続的な企業価値向上を図っていきます。

引き続き、従来の加工・物流・施工機能の充実や建設請負体制の強化を通じ、グループ全体の強みを掛け合わせた「複合的ソリューションの提供」を進めていきます。これら基盤事業の深耕と戦略投資を両輪で推進し、中期経営計画2028で掲げる建材セグメントの成長加速と企業価値向上に取り組んでいきます。

TOPICS

岩水開発(株)による地盤テック事業譲受・子会社化

本年6月、岩水開発(株)による、(株)JFDエンジニアリング地盤テック事業の譲受および(株)安藤の株式取得(子会社化)を実行。両社の専門技術と全国ネットワークを融合し、非住宅市場の地盤改良・杭基礎分野における圧倒的な事業基盤を確立。

M&A・事業譲受の概要

2026年6月1日 実行

①地盤テック事業の譲受

(株)JFDエンジニアリング
売上高 47.0億円
(地盤改良・基礎工事)

②株式取得 (子会社化)

(株)安藤 (議決権100%)
売上高 1.5億円 (RC/パイル製造)

本件における戦略的意義・グループシナジー

①施工エリアの全国拡大

中四国中心の岩水開発(株)に対し、全国規模で地盤改良・基礎工事の対応が可能な対象事業を譲り受けることで、施工エリアを全国規模へ拡大

②非住宅市場における圧倒的な事業基盤の確立

岩水開発(株)が持つ地域に根ざした高い専門性・技術と、新たに擁する全国規模のネットワークおよび強固な施工体制を融合させ、非住宅分野での競争優位性を確立

建材セグメントの成長加速

施策推進により非住宅市場での圧倒的な事業基盤を確立。
中計2028の戦略投資を具現化し、グループ全体の企業価値向上へ貢献。

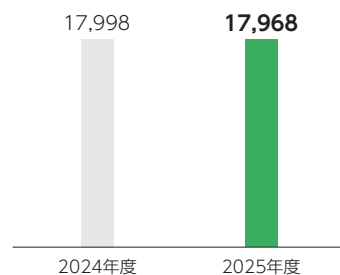


価値創造への取り組み

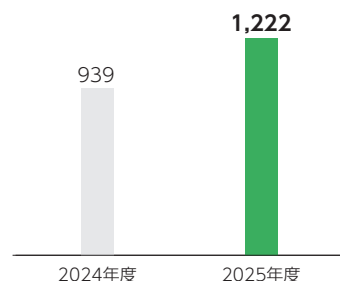
産業資材事業本部



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



事業内容

産業資材事業本部は、高島インダストリーズ株式会社を中核とした、グループ会社*で構成されています。当社グループの祖業である繊維資材に加え、樹脂部材、機能資材など多種多様な商材を取り扱っています。ハイランド株式会社、タクセル株式会社と工場も有しており、加工協力会社とのネットワークを活かして、取引先の皆様より選ばれる製造販売パートナーを目指しています。設計・製造・加工・販売において有機的に連携し、お客様へ複合的な価値を提供しています。

※高島インダストリーズ株式会社、ハイランド株式会社、タクセル株式会社、株式会社信防エディックス、グリーンサイクル株式会社

産業資材事業本部のお客様や提供している機能は分野ごとに様々で、自動車メーカーや電機メーカーに対して当社グループで緩衝設計した物流資材（部品輸送用樹脂トレイ等）を提供するほか、官公庁向け繊維製品やアパレル向け機能性繊維・アパレルOEM生産を展開しています。

TOPICS

タクセル株式会社における医療・微細成形領域への注力と体制強化

100年を超える歴史の中で樹脂成形技術を独自に磨き上げてきたタクセル株式会社では、中計の重点施策である成長領域への集中に向け、「メディカル」および「微細成形」分野へのシフトを加速させています。ISO13485を取得し、クリーンルームを備えた医療機器専用工場（今後、成形機を22台体制へ拡張予定）の運用やデジタル化による厳格なトレーサビリティ体制を構築しています。

同社が培った「ヒート&クール成形技術」や超精密加工技術を活かし、血液検査プレートや核酸クロマト検査キット、マイクロニードルやラボオンチップ等の高難度な医療・理化学部品の設計開発・量産を手掛けます。

知財の集約やスタートアップとの共同開発、海外展示会出展等のグローバル展開を推進し、産業資材事業の「高成長領域への集中」と「高付加価値化」を強力に牽引しています。

今後の戦略

産業資材事業本部では、高島インダストリーズ株式会社を核とするグループ内の事業再編を通じて、事業運営における意思決定の迅速化と一体経営を進めてきました。商社機能とメーカー機能を高い次元で融合させ、自動車、電機、物流、医療、官公庁等の多様な領域に向けて複合的なソリューションを提供する体制を構築しています。

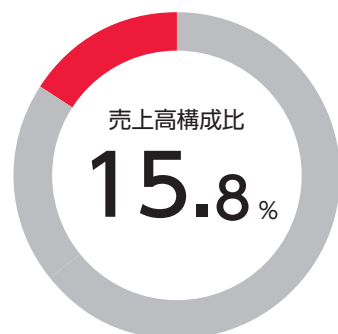
中期経営計画2028においては、グループ各社の生産機能を一段と強化し、エンドユーザービジネスを強力に推進することで製品・サービスの利益率向上を目指していきます。あわせて事業構造改革を推進し、リサイクル資源を用いたカスタム物流資材の提供や、医療分野におけるソリューション展開といった高成長領域へ経営リソースを優先的に集中させていきます。

引き続き、これら戦略の着実な実行を通じて収益基盤をより強固なものとするとともに、事業ポートフォリオの高度化と資本効率の向上を実現し、持続的な企業価値向上に取り組んでいきます。

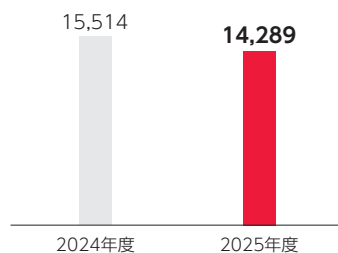


価値創造への取り組み

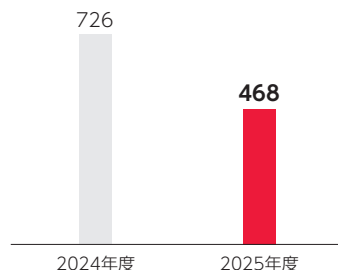
電子・デバイス事業本部



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



事業内容

電子・デバイス事業本部は、iTakグループとして、香港にヘッドクォーターを置き、海外を中心にビジネスを展開する多国籍企業集団です。iTakグループは国内外に7事業所*、自社工場2工場（タイ・ベトナム）を含め全11拠点を有しています。

* iTak (International) Limited、iTak International (Thailand) Limited、iTak International (Vietnam) Co.,Ltd.、iTak International (Shanghai) Limited、iTak International (Shenzhen) Limited、iTak International (Malaysia) Sdn. Bhd.、アイタックインターナショナルジャパン株式会社

iTakグループは各拠点が強く連携することで1つの事業体としてアクティブに活動し、アジア主要各国をカバーしています。お客様の開発・生産・購買拠点に近接する事業所からモノづくりをグローバルにサポートできる点がiTakグループの特徴です。

今後の戦略

iTakグループが持つアジア主要7事業所・自社2工場の多国籍ネットワークを活用し、厳選した価格競争力のある電子部品の提案から国際調達、自社工場での基板実装、カスタム部品製造までを一貫して手掛ける強みをさらに磨き上げていきます。

お客様の高度化するQCD要望に確実に応えるため、品質管理部門の強化（部品解析・工場監査等の徹底）や開発・技術サポート体制の拡充を推し進め、「部品販売×基板実装」による高付加価値な複合的ソリューションの提供に努めていきます。

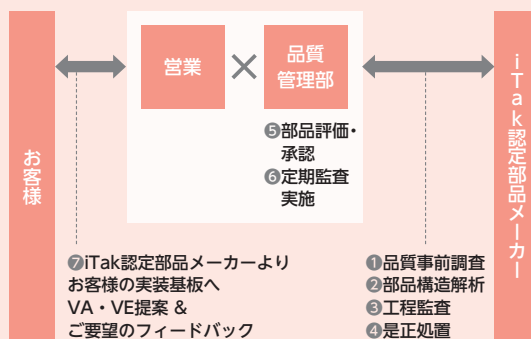
中期経営計画2028においては、これまでの日系メーカーの深耕化に加え、新たな拠点開設や自社工場への投資等を通じて、急成長するASEAN地域での事業活動を大幅に強化していきます。国際販売網を通じた競争力のある部品調達と高精度な実装技術をグローバルに展開することで、外資系企業をはじめとする新規顧客層への拡販を強力に推進し、さらなる成長と企業価値向上に取り組んでいきます。

※ QCD: Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (納期)

TOPICS

コスト最適化+技術×品質管理

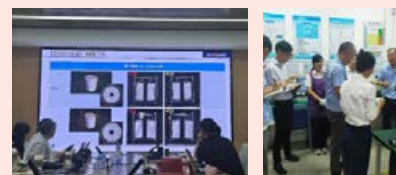
安心してお使いいただける新規部品を
お客様へ提案



お客様重視の理念に基づく品質第一主義を追求するため、継続的な活動を実施

(1) 部品メーカーの監査

部品認定前の品質事前調査・工程監査
および認定後の定期監査を積極的に実施



工程監査時のミーティング

工程監査の様子

(2) 部品解析事例

① アルミ電解コンデンサ
X線透過



【確認項目】
・内部欠陥
(異物、箔の乱れなど)

② 積層セラミックコンデンサ
断面拡大像



【確認項目】
・内部欠陥
(内部電極の積層状態など)

③ BGAはんだ接合
断面SEM像



【確認項目】
・はんだ接続性
(金属間化合物の形成)

※VA (Value Analysis: 価値分析)、VE (Value Engineering: 価値工学)

※BGA (Ball Grid Array)、SEM (Scanning Electron Microscope: 走査電子顕微鏡)

価値創造への取り組み

流通倉庫の中の高島

事業を通じた社会価値の創出

近年気候変動やエネルギー問題など様々な社会課題が顕著になっています。特に2020年以降コロナ禍におけるEC利用拡大に伴い物流市場の拡大、物流施設の大型化に伴うニーズ増に対して高島では、「省力化」「再エネ化」を目指した事業活動を行うことで、社会価値を創出しています。

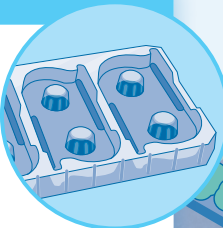
創出したい
社会価値

サプライチェーンの最適化による、
社会・環境課題の解決

省力化・再エネ化

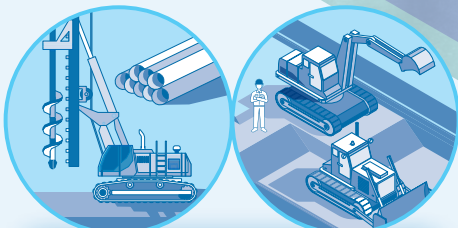
部品輸送用樹脂トレイ

お客様の工程ライン・用途に合わせ搬送・出荷用資材として最適な工業包装製品を提案し、サプライチェーン全体の省力化・再エネ化に貢献しています。



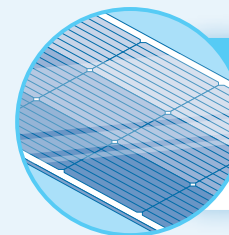
杭打ち工事・地盤改良工事

その上に建てる建物と、建てる場所の地盤に最も適した基礎杭工法・地盤改良工事を提供し、省力化に貢献しています。



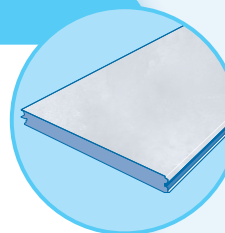
自家消費型太陽光発電システム

屋根に設置した太陽光発電システムで発電した電気を使うことで、再エネ化に貢献しています。



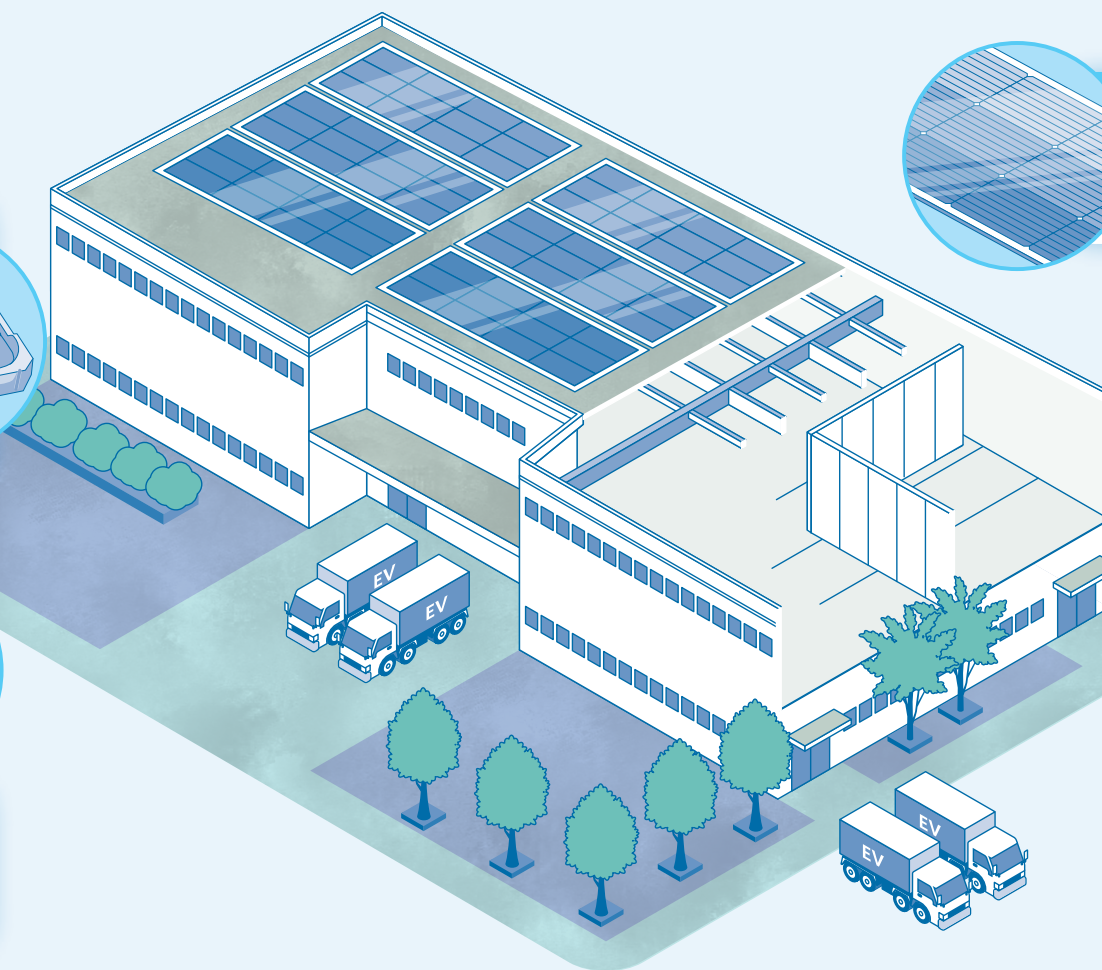
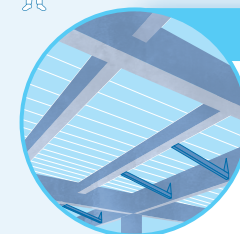
耐火間仕切り

防火基準をクリアし、遮音性も高い間仕切り壁で、効率的な施工が可能で、省力化に貢献しています。



巻き付け耐火被覆材

安定した品質、高い施工性を誇り、施工環境の改善も可能となる新しい耐火被覆材で省力化に貢献しています。



価値創造への取り組み

暮らしの中の高島

事業を通じた社会価値の創出

家は私たちの社会的生活の基盤となり、安定的な生活を支える重要な要素です。住まいは、一番身近な環境問題に対する解決策を提供する場所でもあります。当社グループはサステナ先進商社として様々な機能の提供を通じて、住宅の高性能化・多機能化を進め、エネルギー消費量の削減に繋がっています。また、EVを蓄電池代わりに使うことができるようになり、住宅の防災対策に繋がるV2Hなど、エネルギー活用の新しい形の提案を行っています。当社グループは、環境への配慮や生活の持続可能性の向上に貢献し、社会価値を創出しています。

創出したい
社会価値環境に配慮した、
安心・快適な暮らしの基盤づくり

省力化・再エネ化

1 太陽光発電システム

太陽光発電システムで発電した電気を使うことで、再エネ化に貢献しています。

2 インバーター

自社工場で白物家電の基板実装を実施。インバーター化にアセンブリで貢献し、再エネ化に貢献しています。

4 カーポート

屋根に太陽光発電システムを設置したカーポートで、土地を有効活用でき、太陽光発電システムが設置でき、再生可能エネルギーの拡大を通じた再エネ化に貢献しています。

3 V2H

EVと住宅を繋ぎ、EVへの充電、EVから住宅への給電が可能となり、EVを蓄電池として使うことができ、再エネ化に貢献しています。

